

監督会議申し合わせ事項

1. 開会式での入場行進は登録選手以外の部員も行ってよい。その際、ユニフォームに背番号は無くてもよいが、同一柄のユニフォームであること。(連合チームは除く)
2. 攻守交代の時の投手の練習球は時間で管理するが、球数の目安としては、初回が7球、以降は3球、投手交代の時は5球とする。
3. 次打者は投手が投球姿勢に入ったら素振りをしてはならない。ファウルボールの守備を妨害しないよう、ネクストバッターボックス内で静かに待つこと。
4. 打者は監督のサインを見る時にバッターボックスをはずしてはいけない。バッターボックス内で見る事。監督は速やかにサインを出すこと。
5. 攻守交代後、攻撃側の先頭打者は円陣に加わず、速やかに打撃準備を行うこと。
又、ベースコーチも同様に速やかにコーチボックスに着くこと。
6. 攻守交代後、守備側のキャッチャーが防具の準備に時間がかかる場合には、代替りのキャッチャーが出るか、サード・ファーストがキャッチャーの代わりをする等、時間短縮に努めること。この際マスクは必ず着けること。防具も出来るだけ着けること。
(人数の関係で監督、コーチも認める)
7. シートロックは行わない。
8. 選手のバッティング用手袋の着用は認める。
守備の時にグラブ・ミットの下に守備用手袋を着けることは認める。但し、投手の使用は認めない。走者の手袋着用は打者の時に着けたまま走者になった時に限って認める。但し、手に持ったり、ポケットから半分出すようなことは認めない。
9. 監督は指示・選手交代などでグラウンド内に出る場合は全て「かけ足」とする。又、グラウンド内はもとより、ベンチ内でも選手と同様にグラウンドコートは脱ぐこと。
10. 登録(大会冊子選手名簿)漏れの選手は出場できない。又、控え選手のメンバー表への記入漏れは、登録名簿に入っている場合でも出場は認められない。登録の入力ミス、**打順表**の誤った記入で選手が出場出来なくなることがあります。
11. 試合開始、終了後の挨拶はホームプレート上だけとし、相手ベンチ・本部席には行わない。但し、自分のチームの応援団には挨拶を行ってよいが、次の試合のチームの邪魔にならないよう速やかに行うこと。
12. 監督がグラウンド内に出て投手に指導する場合(監督がベンチを一步でも出て投手に指示した場合も)と守備側の「タイム」は**それぞれ**1試合3回までとする。控え審判が回数を管理する。
13. 応援団の度を越えた「ヤジ」に対しては、監督を退場させる。
14. 小学生の変化球について、審判が監督・選手に注意しても直らない場合は、投手を交代させる。

15. 試合当日、監督が不在の場合は、コーチが監督代行をする旨をオーダー交換する際に審判部（各グラウンド本部）へ申し出ること。キャプテンの場合も同様のこと。
16. ブルペンの有る球場は、次の試合の先発バッテリーのみ、オーダー表交換後からブルペンで投球練習を認める。（試合に支障が無い様、こぼれ玉処理の補助員を必ず付けること）
17. ユニフォームを着ていない者（代表者・スコアラー・補助員等）は、攻守決定後よりグラウンド内に入る事は出来ない。
18. グラウンド内で、ユニフォームを着た指導者が選手とキャッチボールすることは認める。
19. 試合時間が変更になる場合（天候や中学の部のコールドゲーム等）もあります。各チームは迅速に対応すること。又、試合開始予定時刻の40分前にはチーム全員が試合会場に集合し、打順表を提出すること。
20. ベンチ内での携帯電話の使用、ふさわしくない服装でのベンチ入りは禁止する。
24. 全日本軟式野球連盟（JSBB）公認の大人用バットの使用は認める。
25. 開会式の時、監督・コーチは全員、所定の位置（1塁側ベンチ前）に整列すること。又、選手の退場が終了するまで、その位置に整列していること。
26. 以前の大会で試合時間についての抗議がありましたが、試合時間の管理は大会本部の時計にて行いますので、時間についての抗議は一切認めない。
27. 低学年の部では、時間の都合上「ボール回し」は禁止する。
28. 投手と野手が互いの守備位置を交代した時、野手も交代した選手のみ練習球を認める。
29. 攻守交代は全て「かけ足」で行うこと。
30. 抗議権は、当該プレーヤーと監督のみに認める。
31. ネクストバッターボックス内での素振り用のおもり（リング）の使用は禁止する。
32. 大会運営及び、試合に関するクレーム・質問等はチーム代表又は、チーム実行委員がチームの代表としての責任の基に大会本部に対して行うことが出来る。
33. 監督、コーチ、審判は、サングラスを帽子にのせること、ネックレス、ピアスは禁止します。健康上でのネックレスは、見えない様に着用して下さい。
34. ファウルボールの処理については、両チーム選手が行うこと。外野へのファウルボールは、守備についている者が拾いに行く事。
35. 連合チームで出場する場合は異なるユニフォームでの参加を認める。但し、背番号は重複しない事。
36. 清水町球場での自チーム応援場所は、ベンチ後方としバックネット裏のスタンドでの応援は禁止する。